

地域 to 緩和ケア病棟

コロナ渦でできること

2022年9月1日

第1号



地域と緩和ケア病棟 ZOOM 連携カンファレンス

地域から緩和ケア病棟への入院事例

7月に地域から緩和ケア病棟へご入院された患者様の**振り返り検討**を ZOOM で行いました。

自宅ではどのように過ごされてきたのか、入院後はどのように過ごされてきたのか、提供した緩和ケアについて多職種で検討しました。振り返りによって、今後のケアに繋げることは、とても大切な事と考えています。

入院後に自宅退院も検討するなど、一度緩和ケア病棟にご入院されたため自宅への退院は選択肢にないわけではありません。緩和ケアの提供を行い、症状が落ち着かれた場合、ご本人・ご家族の皆様のご希望があれば、地域の医療・介護関連、地域の方々と連携をとり、ご自宅での生活を支援することもあります。コロナによる面会制限で療養の場に自宅を選択される方も以前に比べ増えています。

患者様・ご家族の皆様にとって、緩和ケア病棟が様々な選択肢の一つとして存在することを知っていただければと思います。また、地域の医療者の皆様にとってスムーズな連携ができるよう今後も運営して参ります。

病棟責任者